

学校教育目標

あしたに向かって ～行くのが楽しくなる学校～

研究主題

本気で学び、豊かに表現しようとする子どもの育成
～ちがいを生かした、子ども主体で全員参加の授業づくり～

めざす子どもの姿

本気で学ぶ

子ども

学ぶことに興味や関心を持ち、自己の学習活動を振り返って次につなげる学び。

○教師の働きかけ

- ・ 子どもの考え方のちがいを生かし、子ども主体の授業づくりを行う。
- ・ 子どもの考えが比較できる板書づくりを意識し、毎週板書を振り返ることで、授業力の向上を図る。

ねばり強く学ぶ

子ども

子ども同士、教職員等の考え方とねばり強く対話することを通して、より良い方法を求める自己の考えを広げ深める学びの創造。

○教師の働きかけ

- ・ ペアやグループで何を学び深めるか整理し、協働的な学びの中でねばり強く相手の考えを受け取ろうとする姿を価値付ける。
- ・ 子どもと共に創造した学びのプロセスを振り返り価値付けることで、学びに連続性と意味をもたせる。

豊かに表現し合う

子ども

仲間の考えを受け取りながら、自分自身の思いや考えを豊かに表現する学び。

○教師の働きかけ

- ・ 豊かに表現し合っている児童の姿はどのようなものか、教職員がお互いの授業を開くことで、子どもの姿を見取る教師の力を磨き合う。
- ・ 仲間の考えを認め、自分の考えを伝え合える学級づくりを行う。

お互いの考えを認め合える学習集団づくり

日々の授業で子どもを育てる！
算数科を中心とした授業づくり

学びの土台

「聞く」の徹底
「話す」の指導

相手の話をしっかりと聞き、自分の考えを「話す」が日常的に行われるよう意識して指導する。

個別の知識・技能を高める取組

各学年で付けなければならない力を明らかにして、一年間を見通して個別の知識・技能を高めていく。

家庭学習の充実

「めあて」「ふりかえり」を大切にしたい家庭学習の取り組みを行い、学び方にも価値を置いて指導していく。